

**2022 年度・秋田大学生涯学習講座
AULEPP・活動報告**



はじめに

「障害のある方を対象とした秋田大学における生涯学習講座」は、2020年度はより公開講座として試行実施を開始し、取組みを継続してきました。この生涯学習講座は、Akita University's Lifelong Education Program for Persons with Disabilities の英語表記の頭文字をとって、AULEPP (オウリップ) と呼んでいます。この AULEPP の活動については、随時、AULEPP ホームページ (<https://maebarakazuaki.wixsite.com/lifelong>) 及び AULEPP Facebook ページ (<https://www.facebook.com/AULEPP/>) で紹介をしております。これらのページもご覧いただけますと幸いです。

さて、この3年間の AULEPP の活動を振り返りつつ、参加される受講者の参加時の表情を見たりや提出いただいた感想を読むなどする中で、「学び続けること」の大切さなどを改めて感じているところです。まだまだ試行実施の段階であり、試行錯誤の中でプログラムを構築している状況です。この報告書は、この途中経過を示すものにすぎませんが、今後の障害のある方を対象とした生涯学習の試みが広がっていくための一つの参考資料となればうれしい限りです。

秋田大学教育文化学部
特別支援教育研究室
准教授 前原和明



オンライン・ゼミの風景

AULEPP ホームページ

<https://maebarakazuaki.wixsite.com/lifelong>



AULEPP Facebook

<https://www.facebook.com/AULEPP/>



目次

I 2020 年度及び 2021 年度の取組

II 2022 年度・AULEEP のコンセプト

III 2022 年度・AULEPP の内容

IV 関連業績一覧

参考資料

I 2020 年度及び 2021 年度の取組

1. 2020 年度の取組について

秋田大学生涯学習講座は、2020 年度より秋田県生涯学習課から特別支援教育研究室への要請を受けて生涯学習課の推進する「障害者の生涯学習支援モデル事業」に協力する形で取組みを開始しています。秋田県生涯学習課では、平成 30 年度から令和元年度にかけて、文部科学省からの委託を受けて、障害者の生涯学習推進に向けた検討及び県内 5 団体を活用したモデル事業を開始しています。これまでの検討及びモデル事業を踏まえて、今年度より秋田大学での障害者の生涯学習支援モデル事業による効果的な学習プログラム及び実施体制の開発を開始するという経緯で協力することになりました。

2020 年度は、「秋田大学における障害者の生涯学習モデル講座」として、附属特別支援学校在籍学生及び卒業生を対象に公開講座を 2 回実施しました。

	日時	テーマ	講師	場所
1	2020 年 12 月 5 日 (土) 10:30~11:30	「パラパラ漫画を作ろう!!」 - じっくり、ゆっくり、楽しく -	秋田大学大学院 教育学研究科 教授 ・長瀬達也先生	秋田大学 3-145 教室
2	2021 年 1 月 24 日 (日) 10:30~11:30	「おいしく食べよう！」	秋田大学 教育文化学部 特別教授 ・佐々木信子先生	秋田大学 3-255 教室

1 回目の講座は、教育学研究科の長瀬達也教授にご協力を頂き、「パラパラ漫画を作ろう！ -じっくり、ゆっくり、楽しく-」と題して講義を行っていただきました。参加者からは、「楽しい～！」などのつぶやきが聞かれ、美術に関する興味の高まりを確認できました。



長瀬先生の講義の様子



参加者によるパラパラ漫画の作成作業

2 回目の講義は、教育文化学部佐々木信子特別教授に、「おいしく食べよう！」と題して講義を行っていただきました。参加者は、「食」という身近なテーマであることから、普段の自らの食事状況を振り返りながら、質問に対して積極的に手を挙げ、講義に参加していました。



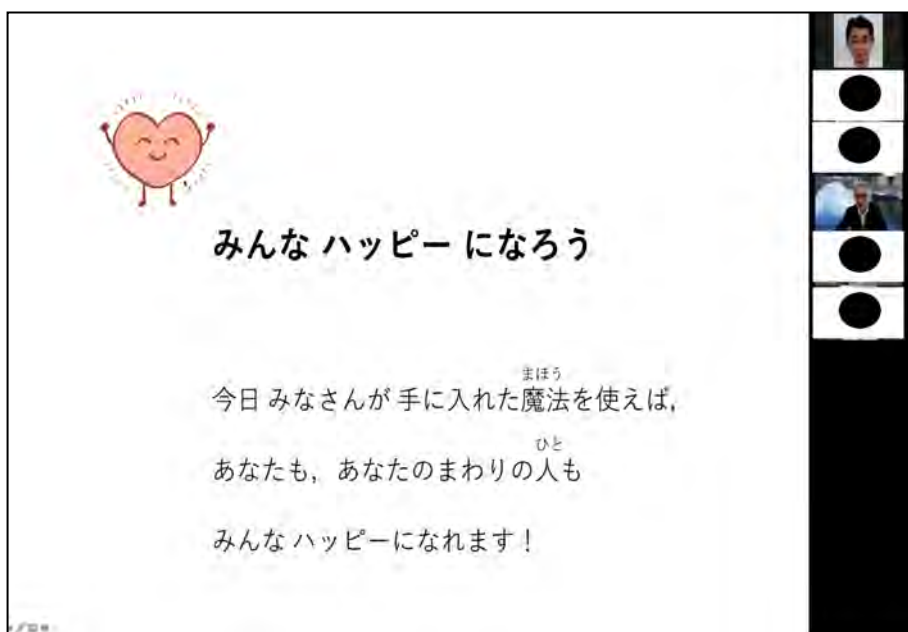
佐々木先生の講義の風景

講座を実施して、障害のある方々にとっては、大学の中で学ぶという体験は初めての事です。大学の講義室での講座の受講は、緊張を感じるものであったようですが、大学での学びの雰囲気存分に味わえたよう思えました。また、今回の講座は、障害のある方々にもわかりやすいように配慮してありましたが、美術学及び栄養学に関するものでした。このような「～学」の学びは、これらかの学びへの動機づけ、また日常生活における社会への関心につながる事が期待できます。

2. 2021年度の取組について

2021年度は、2020年度の試行的取組を広げるために、全10回の公開講義を実施しました。

	日時	テーマ	講師	場所
1	2021年 10月9日(土) 10:00~11:00	オリエンテーション/ Zoomの使用方法	秋田大学教育文化学 部 准教授 ・前原和明先生	Zoom オンライン
2	2021年 10月16日(土) 10:00~11:00	心理学:みんながハッピー になるための心理学	秋田大学大学院教育 学研究科 教授 ・武田篤先生	Zoom オンライン
3	2021年 10月23日(土) 10:00~11:00	幸せな国・デンマークの 人々と学び	秋田大学大学院教育 学研究科 教授 ・原義彦先生	Zoom オンライン
4	2021年 11月6日(土) 10:00~11:00	家計管理・金銭管理を考え てみよう	秋田大学教育文化学 部 准教授 ・堀江さおり先生	Zoom オンライン
5	2021年 11月20日(土) 10:00~11:00	形や色について学ぼうー 絵の基本を楽しく学びま すー	秋田大学大学院教育 学研究科 教授 ・長瀬達也先生	Zoom オンライン
6	2021年 11月27日(土) 10:00~11:00	煮干しになっている魚を, 自分で解剖して体のつく りを調べてみよう!	秋田大学教育文化学 部 教授 ・石井照久先生	Zoom オンライン
7	2021年 12月4日(土) 10:00~11:00	歌の背景を考え、表情をつ けて歌いましょう	秋田大学教育文化学 部 講師 ・石原慎司先生	秋田大学 2-104 教室
8	2021年 12月11日(土) 10:00~11:00	体を使って考えよう!算 数・数学	秋田大学教育文化学 部 講師 ・加藤慎一先生	秋田大学 5-209 教室
9	2022年 1月22日(土) 10:00~11:00	身近なサイバー空間の脅 威と情報セキュリティ	秋田大学教育文化学 部 教授 ・林良雄先生	Zoom オンライン
10	2022年 2月12日(土) 10:00~11:00	秋田のまつり	秋田大学教育文化学 部 教授 ・志立正知先生	Zoom オンライン



武田先生のオンライン講義の様子



加藤先生の対面講義の様子

2021年度の講座では、秋田県内の特別支援学校に協力を頂き、広く参加者を募りました。各回概ね、4名以上の障害のある方が参加されました。オンラインで講義を行う回も多くあり、秋田大学の所在する秋田市以外の参加者もありました。

講座開始当初、Zoomを用いたオンライン講義に対する戸惑いを参加者が持つ状況が多く感じられました。しかし、回を重ねるにつれて、リアクションボタンを上手く使い、チャット

トボックスを使ったやり取りができるなど、オンライン講座に慣れた様子が見られるようになりました。

参加者の各講座に対する感想には、以下のようなものがありました。

・第2回より：

「講義の最後で紹介していた本が気になったので買いました。ホセ・ムヒカ世界でいちばん貧しい大統領（角川文庫）です。これから読んでいきます。」

・第4回より：

「僕は3年前くらいから家計簿をつけるようになりました。その月に使ったお金が分かかって良かったです。毎日欠かさずつけています。」

・第5回より：

「講座を受けて、いろんな形を組み合わせで描くという発想がなかったので新しいことを学べて楽しかったです。今日、学んだことを生かしてこれからもいろんな絵を描いていきたいです。」

これらの感想から、生涯学習講座を通じて、参加者に新たな知識の獲得、更なる学びの意欲の喚起、生活場面への応用などの肯定的な事柄を提供できたと考えられました。

なお、2021年度の取組詳細については、Maebara et al.(2022)に報告をしました。

Maebara K, Fujii Y, Tanimura K, Suzuki T, Takeda A (2022) A study of lifelong education for persons with intellectual disabilities at the university level. Journal of Intellectual Disability Diagnosis and Treatment, 10(2), 70-77 <https://doi.org/10.6000/2292-2598.2022.10.02.1>

3. 2020年度及び2021年度の総括

この秋田大学で実施した公開講座は、単なる知識の獲得のためだけでなく、知的障害のある参加者が継続的な成長することを支える上で有用なものであったと、感想などから考えられました。実際、感想では、参加者に学びに対する姿勢において、質的な変化を確認することができました。

2021年度の公開講座は、COVID-19の感染拡大を予防するためオンライン講義を基本として実施されました。そのため、参加者が期待していた友人や大学生との交流の機会は十分に提供できませんでした。しかし、最終的に、参加者からオンライン講義を望まない声はありませんでした。これには、遠方から参加できることや冬場の雪の日でも参加できることなどのメリットが大きく、大学会場への公共交通機関などによるアクセスの課題を解消したためと考えられます。感染予防のためのみならず、地理的な利便性、そして、視覚的な教材をフルに活用でき理解がし易かったなどの理由からオンライン講義の活用可能性が示されたと考えられました。

秋田大学特別支援教育研究室では、既に、ボランティアという形で、知的障害者を対象とした様々な余暇活動などの実践を行ってきています。また、広く秋田県を見ると、余暇活動やボランティアクラブなど様々な生涯学習の取組が確認できます。今後の秋田大学における生涯学習講座の内容やあり方を考える上では、上記のような多彩な生涯学習の機会との違いを考慮し、秋田大学として何を提供していくことが求められているかについて検討していくことが必要と考えられました。

Ⅱ 2022 年度・AULEEP のコンセプト

1. 「大学という場」の活用

2022 年度の AULEPP は、2020 年度及び 2021 年度の実践から得られた知見に基づき試行的に構築しました。これまでの取組において、AULEPP の参加者は、新たな学び、継続的学びのニーズ、新たな関心、日々の生活スタイルや社会に対する見方の変化を得たということ考えられます。そして、ここから以下の 3 点のような知見を含めることが必要であると整理できました (Maebara et al., 2022)。

- ①参加者が講義から意味を見つけ出すための機会の設定
- ②学びの場を保証するためにオンラインを有効活用
- ③地域の中での大学の生涯教育の位置づけの明確化

Maebara K, Fujii Y, Tanimura K, Suzuki T, Takeda A (2022) A study of lifelong education for persons with intellectual disabilities at the university level. *Journal of Intellectual Disability Diagnosis and Treatment*, 10(2), 70-77 <https://doi.org/10.6000/2292-2598.2022.10.02.1>

2022 年度の AULEPP の試行実施では、この 3 つに着目して、プログラムの内容を検討しています。その詳細については、次節をご確認ください。

さて、このような試行に向けた視点がある一方で、AULEPP を構築する上で、最も意識したことは「大学という場」の特徴をどのように入れ込むのかということです。では、大学における生涯学習教育の提供を考える時に、大学という場の特徴を理解したらよいのでしょうか？大学生活を経験したことのある方は、ぜひ自分の大学時代を振り返って考えていただければと思います。高校時代とは違い、日課は定まっておらず、個々の学生の選択によって日課が作られます。また、大学では、授業を受ければよいのではなく、実は、授業の前後、背景にある自主的な学びが重要です。また、様々な経験や知識を、ゼミナールや卒業研究といった活動の中で統合していくことが求められます。このように大学という場は、ある意味、特殊な場ということができそうです。

これに関して、太宰治の 1973 年の『正義と微笑』という物語の中に、以下のような記述が確認できます。

勉強というものは、いいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思っている人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならん。日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。何も自分の知識を誇る必要はない。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルチベートされるということなんだ。カルチュアというのは、公式や単語をたくさん暗記している事でなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知る事だ。学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、かならずむごいエゴイストだ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆったりと、真にカルチベートされた人間になれ！これだけだ、俺の言いたいのは。

太宰治『正義と微笑』青空文庫

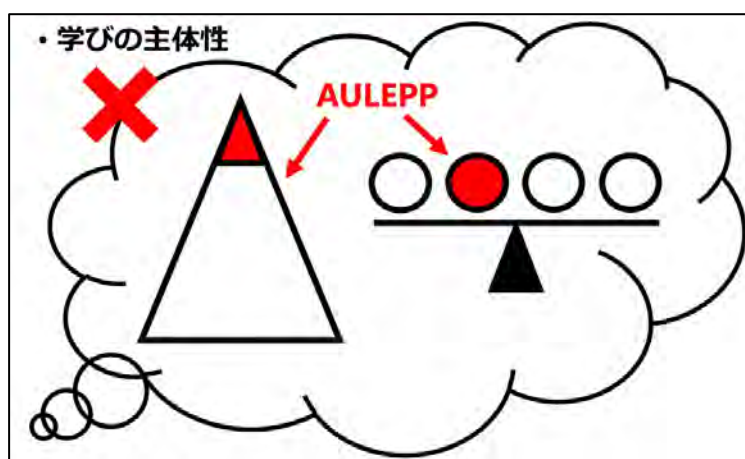
ここには太宰の学びに対する認識が表されているように思います。この引用部分においては、「日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。」や「覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルチベートされるということなんだ。」、そして、「けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆったりと、真にカルチベートされた人間になれ！」といった言葉に大きく共感を持たれる方も多いのではないのでしょうか。

大学における生涯学習教育においては、このような大学という場の持つ特徴をどのように入れ込むことができるのかということが大きな課題と考えています。

2. 地域における AULEPP の位置づけ

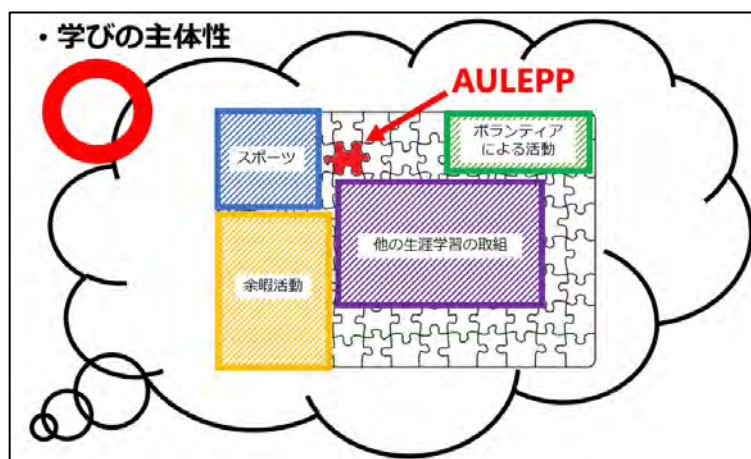
ここまで、AULEPP のコンセプトについて、「大学という場」の観点から説明をしてきました。このような前提の上で、次に 2022 年度の AULEPP の内容の説明をする前に、AULEPP の地域における位置づけについて確認をしてきたいと思います。これについては、既に上記に、2020 年度及び 2021 年度の試行実施の結果から「③地域の中での大学の生涯教育の位置づけの明確化」の必要性を書いています。AULEPP の内容を決定する上で、重要な側面のため補足をします。

2022年度のAULEPPについては、参加者の学びの主体性・選択、自己決定ということ 키워ドとしています。AULEPPは、大学で実施するために地域の最も上位にある生涯学習講座ではありません。また、他の生涯学習講座と比較してよいものであるという考え方にも立っていません。



AULEPP の位置づけ 1

AULEPPについては、参加者の学びの主体性・選択、自己決定という観点から、地域の中で様々にある生涯学習講座の一つに過ぎないという立場にたっています。



AULEPP の位置づけ 2

つまり、AULEPPは、参加者の学びの主体性・選択、そして自己決定という立場から、「スポーツ活動」、「余暇活動」、「ボランティアによる活動」、「他の生涯学習の取組」などの様々にある地域の生涯学習の中の選択肢の一つとして理解しています。その意味で、個々人の学びの希望に対する地域の社会資源の一つとして提供できればと考えています。

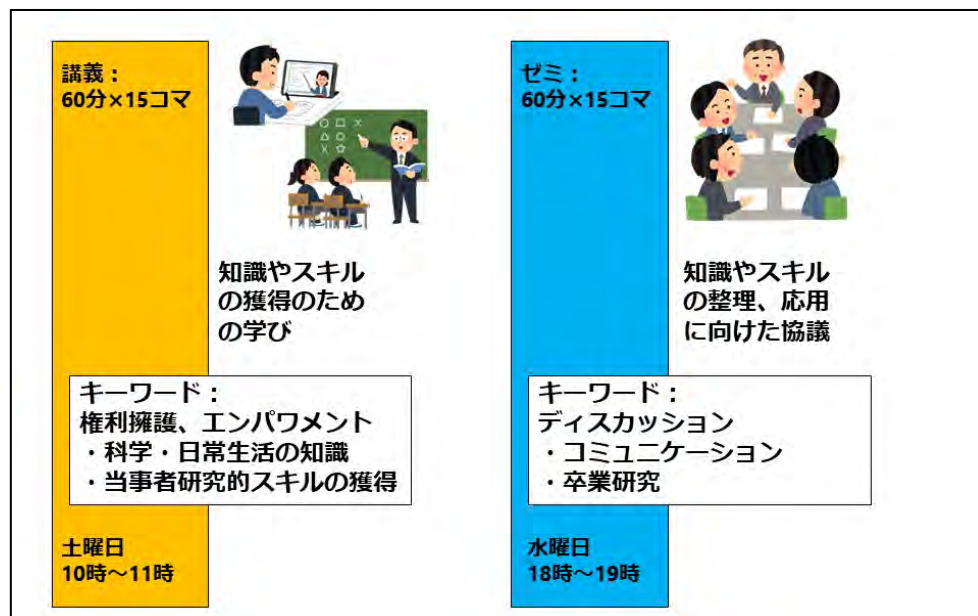
Ⅲ 2022 年度・AULEPP の内容

1. AULEPP のプログラム内容

ここからは 2022 年度に試行的に取り組んだ AULEPP の内容について紹介していきます。

2022 年度の AULEPP のプログラム内容は、大きく 2 つのカリキュラムから構成されます。このカリキュラムは、「講義」と「ゼミ」の 2 つです。この 2 つのカリキュラムが、それぞれ 60 分・1 回の計 15 コマから構成されます（総コマ数：60 分×30 コマ）。

実施曜日及び時間帯については固定し、講義については土曜日の 10 時～11 時、ゼミについては水曜日の 18 時～19 時とし、隔週ではなく指定日に実施した。なお、実施方法については、受講者の希望に応じて、対面及びオンラインで実施した。



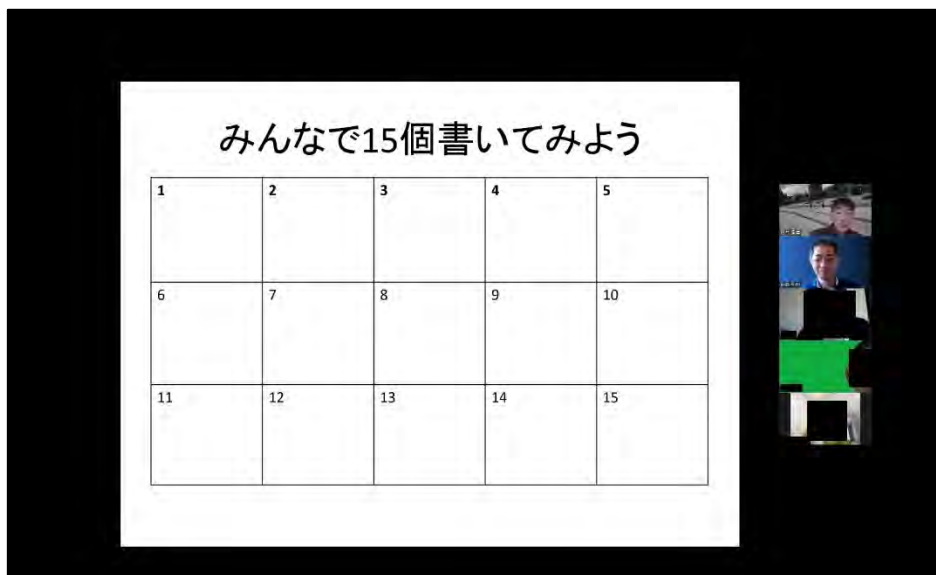
AULEPP における 2 つのカリキュラム

カリキュラム「講義」

カリキュラム「講義」は、参加者が知識やスキル獲得のための学びの機会になります。この講義は、「科学・日常生活の知識の獲得」や「当事者による研究スキルの獲得」などを旨としたものから構成されており、このキーワードは、「権利擁護」、「エンパワメント」になります。

講義の内容としては、AULEPP を運営する特別支援教育研究室教員による講義と秋田大学教育文化学部の教員の協力によって行われる公開講座から構成されました。

特別支援教育研究室教員による講義テーマの例としては、「みんなが協力して住みよい社会をつくるために」、「こんなときどうする？」、「みんながハッピーになるための心理学」、「ストレスとサポート」が行われました。



藤井先生のオンライン講義の様子

この特別支援教育研究室教員による講義以外にも、秋田大学教育文化学部の教員の協力によって行われる公開講座を行いました。この公開講座は、前章の地域における AULEPP の位置づけでも述べたように、生涯学習の多様な選択肢の一つともなるように、AULEPP 受講者の講義であるとともに、幅広く参加者を募る公開講座としました。2022 年度の公開講座は計 6 回実施し、その内容は以下の通りでした。

	日時	テーマ	講師	場所
1	2022年 9月3日(土) 10:00~11:00	オリエンテーション/Zoomの使い方	秋田大学教育文化学部 准教授 ・前原和明先生	Zoom オンライン
2	2022年 9月10日(土) 10:00~11:00	気象・気候・雪氷のはなし	秋田大学教育文化学部 准教授 ・本谷研先生	Zoom オンライン
3	2022年 10月1日(土) 10:00~11:00	絵・美術	秋田大学大学院教育学研究科 教授 ・長瀬達也先生	秋田大学 3-255 教室
4	2022年 10月22日(土) 10:00~11:00	情報セキュリティ	秋田大学教育文化学部 教授 ・林良雄先生	Zoom オンライン
5	2022年 10月29日(土) 10:00~11:00	家計管理・金銭管理	秋田大学教育文化学部 准教授 ・堀江さおり先生	Zoom オンライン
6	2022年 11月26日(土) 10:00~11:00	主権者教育	秋田大学教育文化学部 講師 ・加納隆徳先生	秋田大学 3-255 教室

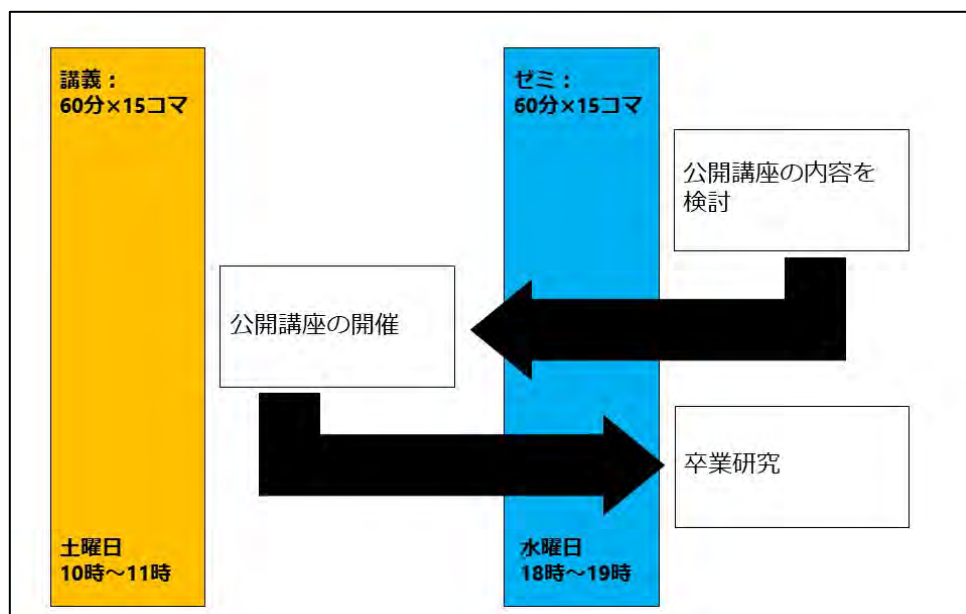
その他、講義では、受講者の興味に基づき、「災害」、「感想を書く」などをテーマに講義を実施した。

カリキュラム「ゼミ」

カリキュラム「ゼミ」は、参加者が知識やスキルの整理、応用に向けた協議をするための機会となります。このゼミは、「受講者同士のゼミ内でのコミュニケーション」や「AULEPPプログラムを通じて作成する卒業研究の作成」を目指した内容から構成されており、このキーワードはディスカッションになります。

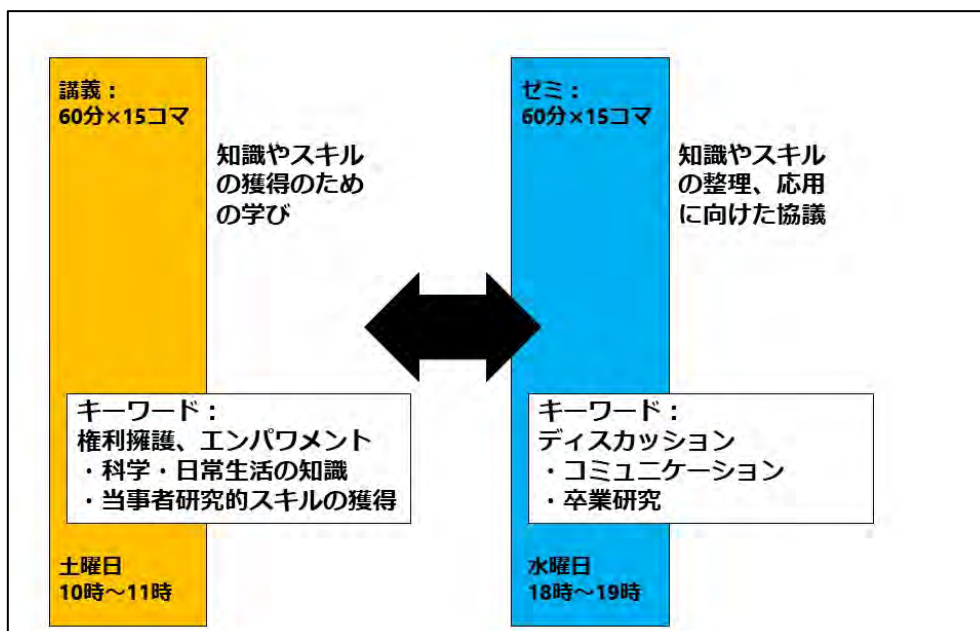
このゼミでは、最終的な卒業研究の作成を目指して、ディスカッション中心の活動を行っていきます。ここでは、卒業研究という言葉を用いていますが、もちろん正規の卒業研究とは違うものです。しかし、プログラムの終了に向けて、参加者が何らかの興味や関心を培う中で、何らかの調べ学習などをし、それをまとめる活動を卒業研究と呼んでいます。卒業研究をきっかけに、日常の生活場面での学びの習慣化を目指します。このゼミの前半では、個々人が学びたいこと、興味や関心を明らかにすることから始め、その関心に基づき、公開講座の講師の選定を協議していきます。後半では、その興味や関心に基づきテーマを決めて調べていくこととしています。今回のゼミの中でも、このような経過を通して公開講座の講

師が決まり、その中で個々人が調べ学習をして、公開講義に臨み、そして、テーマについて卒業研究を作っていました。



ゼミナールの進め方

以上のように、2022年度 AULEPP については、「講義」と「ゼミ」の2つのカリキュラムを設定しています。これらの講義とゼミを関連付けてプログラムを進めていくことで、学びの主体性を引き出すような生涯学習講座となるように試みました。



カリキュラムの相互作用

2. AULEPP のプログラムの実施結果

ここからは、2022 年度の AULEPP の実施を通じて得られた結果について報告します。

生涯学習講座の実施結果

1) 講義：土曜日 10 時～11 時

講義については、公開講座なども設定しつつ行いました。対面及びオンラインで実施した講義は、参加者にとって有意義な内容であったことが感想などから把握できました。

対面とオンラインを交えた実施は、有効であると感じています。土曜日の朝の時間帯にオンラインで実施することで、参加しやすいことが考えられました。また、対面を定期的に行うことで、他者と対面で会うことができるというメリットもあると考えられました。



講座のオリエンテーションの様子

2) ゼミ：水曜日 18 時～19 時

今年度の生涯学習講座の最終的な参加者は2名と、参加人数が非常に少なく、ゼミにおける受講者間の相互交流が十分に実施できませんでした。また、このゼミを実施した夕方の時間帯は、仕事後の時間帯でもあり、参加者の参加の負担であったことが推察されました。一方で、自由なコミュニケーションを前提としたゼミは、担当する職員とのきめ細やかなやり取りを促し、参加者との信頼関係等を構築することができたと考えています。

ゼミの中でのディスカッションを通じて、公開講座のテーマを決定することまでは達成できましたが、ゼミと通じて、自分たちの関心を高めること、テーマについて調べることま

で実施していくことは難しく、ゼミをフォローするための学生ボランティアの活用や個別相談時間の設定などの対応が必要であると考えられました。

生涯学習公開講座の実施結果

公開講座は、AULEPP のプログラムの一部講義への参加を広く応募したのになります。

1) 「オリエンテーション／Zoom の使い方オンライン」

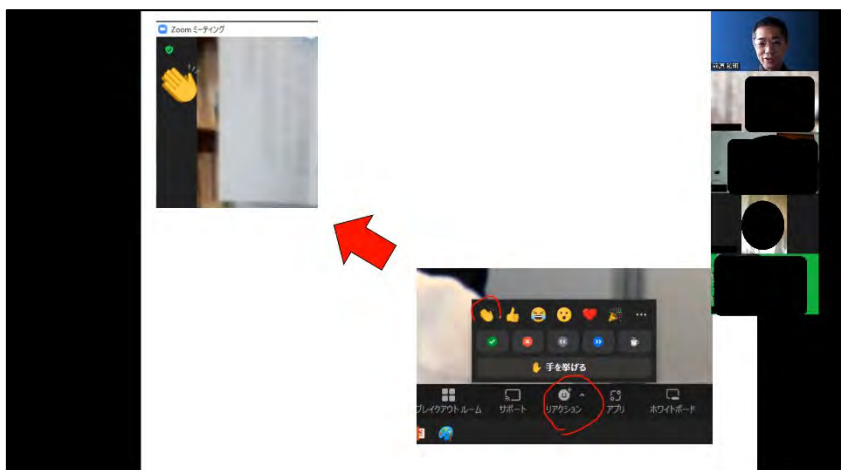
日時：2022 年 9 月 3 日（土） 10:00～11:00

講師：秋田大学教育文化学部 准教授 前原和明先生

実施方法：Zoom オンライン



前原先生のオンライン講義の様子①



前原先生のオンライン講義の様子②

第1回目の参加者は、5名でした。参加者からは、「今年も楽しみにしていた」、「Zoom の機能を知ることができました」などの感想が得られました。

2) 「気象・気候・雪氷のはなし」

日時：2022年9月10日（土）10:00～11:00

講師：秋田大学教育文化学部 准教授 本谷研先生

実施方法：Zoom オンライン



本谷先生のオンライン講義の様子

第2回目の参加者は、3名でした。参加者からは、「教え方がうまくて、とてもわかりやすかったです」などの感想が得られました。

3) 「絵・美術」

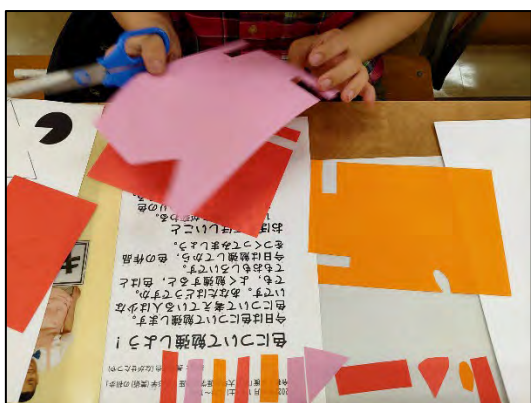
日時：2022年10月1日（土）10:00～11:00

講師：秋田大学大学院教育学研究科 教授 長瀬達也先生

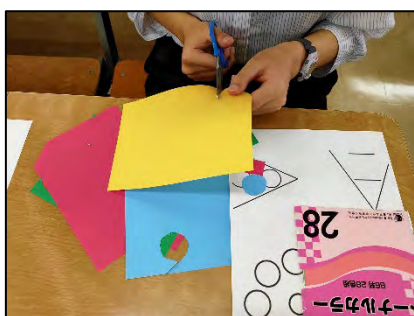
実施方法：対面（秋田大学教育文化学部 3-255 教室）



長瀬先生の対面講義の様子



受講の様子①



受講の様子②

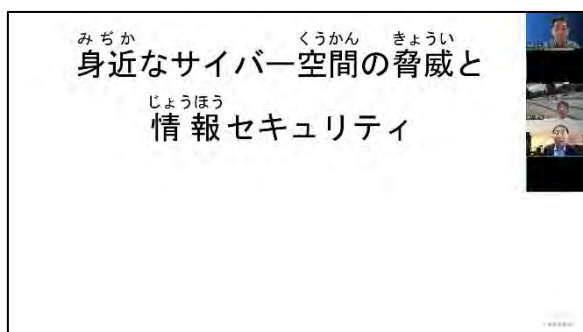
第3回目の参加者は、5名でした。参加者からは、「色の感じ方が白と黒でのちがいが分かりとてもおもしろかったです」、「いろがみを切って貼ったのが楽しかった」などの感想が得られました。

4)「情報セキュリティ」

日時：2022年10月22日(土) 10:00~11:00

講師：秋田大学教育文化学部 教授 林良雄先生

実施方法：Zoom オンライン



林先生のオンライン講義の様子

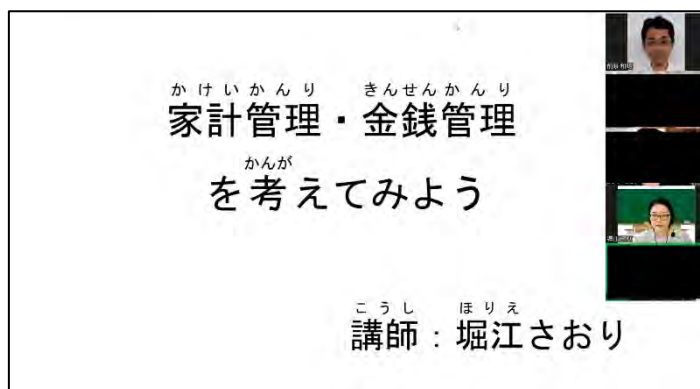
第4回目の参加者は、4名でした。参加者からは、「インターネットや情報を甘く見てはならないという事をもっと知ることができました。」などの感想が得られました。

5)「家計管理・金銭管理」

日時：2022年10月29日(土) 10:00~11:00

講師：秋田大学教育文化学部 准教授 堀江さおり先生

実施方法：Zoom オンライン



堀江先生のオンライン講義の様子

第5回目の参加者は、3名でした。参加者からは、「お金の使い方と工賃の使い方の勉強になりました。」などの感想が得られました。

6)「主権者教育」

日時：2022年11月26日(土) 10:00～11:00

講師：秋田大学教育文化学部 講師 加納隆徳先生

実施方法：対面(秋田大学教育文化学部 3-255 教室)



第6回目の参加者は、6名でした。参加者からは、「政治や選挙について、改めて学ぶことが出来ました。これからも政治に向き合って生きていきたいです」などの感想が得られました。

3. 今後の課題

今年度の実施を通じて得られた課題については、以下の通りです。

○1年間の継続した実施について

2022年度は、1年間の継続したプログラムとして実施しました。前年度までの公開講座とは違い、継続して参加することが求められます。継続して参加することで、事務局側も個々の受講者の性格などを把握でき、きめ細やかな配慮を提供することができました。その一方で、当初参加を希望していた人が、途中でリタイヤするなどの状況がありました。その理由としては、モチベーションを維持し続けることの難しさや、仕事との両立の難しさなどが考えられました。このような状況を踏まえて、例えば、4半期(クォーター)程度での継続的な実施も検討することで、継続実施のメリットを活かしたプログラム運営ができると考えられます。このプログラムの意味や目標をもっと明確にする必要があると考えます。こ

の講座を通うことを通じて、得られることは何かなどの目的を、例えばカリキュラム名などを提示することも一つの方法として考えられます。

○オンラインの有効活用について

オンライン実施をすることで、休みの日や夕方の時間帯などの参加しやすい時間を活用できるというメリットがあると考えます。その一方で、まだまだオンラインツールやパソコンの利用になれない参加者もあり、対面の方が良いという意見もありました。オンラインでは、資料や動画を共有する、時間や場所に拘束されることなく参加できるというメリットがあります。対面における受講者のグループ性を活用できること、困ったときにいつでも相談できるなどの不安解消などのメリットがあります。この両メリットを活用する上で、オンラインと対面の適切な組み合わせということを検討できるとよいと考えられました。

○「大学」が提供する学びについて

提供する事務局側は、大学に所属しており、「大学」というもののイメージが自明です。その一方で、受講者の多くは、大学というもののイメージがなく、これまでの学びとは違う内容を、異なる形で学ぶことに混乱した人、自分で調べたり、活動していくことの原因が分からない人など状況が考えられます。もっと大学について具体的なイメージを持つような取り組みも必要と考えられました。講座の事前あるいは講座の中などに、大学の環境だけでなく、大学の生活などについて学ぶ機会を設定することや、実際に学ぶ大学生とコミュニケーションする機会を増やし、「大学」というものについて学ぶことも大切であると考えられました。

○参加人数の確保と周知について

今回の講座の大きな課題となったのは、参加人数の少なさでした。この人数の少なさについては、講座のプログラム内容に関する課題もあるため、改善が必要と考えます。それに加えて、この講座の周知面の課題もあります。講座の存在を知らないなどの、講座へのアクセスについて、どのような工夫が必要かについて更なる検討をおこないたいと考えています。

次年度については、これらの課題についての対策を検討しながら、検討していきたいと考えています。

IV 関連業績一覧

AULEPP の活動に関連するこれまでの業績を以下に示します。

論文発表等

Maebara K, Fujii Y, Tanimura K, Suzuki T, Takeda A	2022	A study of lifelong education for persons with intellectual disabilities at the university level	Journal of Intellectual Disability Diagnosis and Treatment, 10(2), 70-77	https://doi.org/10.6000/2292-2598.2022.10.02.1
---	------	--	---	---

大会発表等

前原和明	2022	取組紹介	「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会	口頭発表
前原和明・ 藤井慶博・ 谷村佳則	2022	大学における生涯学習機会の提供についての実践報告：秋田大学における取組実践 AULEPP の実施状況から	日本発達障害学会 第 57 回研究大会	ポスター発表

その他

前原和明	2021	令和 2 年度「秋田大学における障害者の生涯学習モデル講座」の実施報告	秋田大学教育文化学部 「みなおと」 No.35	
前原和明	2022	令和 3 年度「秋田大学における障害者の生涯学習モデル講座」の実施報告	秋田大学教育文化学部 「みなおと」 No.48	

前原和明	2022	障害のある方の社会参加と活躍の場の創出へ：「誰一人取り残さない」社会を目指して	秋田大学広報誌「アプリーレ」No.75, p9	https://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/magazine/aprire/newbook/75/index.html#page=1
前原和明	2023	令和4年度「秋田大学における障害者の生涯学習モデル講座」の実施報告	秋田大学教育文学部「みなおと」	
前原和明	2023	2022年度・秋田大学生涯学習講座 AULEPP・活動報告	秋田大学生涯学習講座 AULEPP	

参考資料

- 2020 年度生涯学習講座チラシ
- 2021 年度生涯学習講座チラシ
- 2022 年度生涯学習講座チラシ
- 2022 年度生涯学習公開講座チラシ
- 2022 年度「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会 発表資料
- 2023 年度 AULEPP 周知チラシ（第一報）
- 卒業論文：障害者の生涯学習充実のための有効な情報提供ツールの検討（山田，2023）
- 秋田県内の「障害者の生涯学習」に関する取組等の紹介（9 団体）
秋田県生涯学習センターより提供 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/47843>
 - 発達凸凹研究会 GALAPAGOS
 - NAO のたまご
 - OHANA はたらく生活介護
 - あきた子どもねっと
 - こまちほーぷ隊
 - にこっと秋田
 - サポートセンター ビーイング
 - 秋田市手をつなぐ育成会
 - 秋田ふくしハートネット

秋田大学で 学んでみませんか？

大学の先生による魅力的な
授業を受けられます！
キャンパスライフを体験！
大学の学生も手伝ってくれます

12月
5日
SAT

テーマ：「パラパラ漫画を作ろう！！」
-じっくり、ゆっくり、楽しく-
講師：秋田大学大学院教育学研究科
教授 長瀬 達也先生

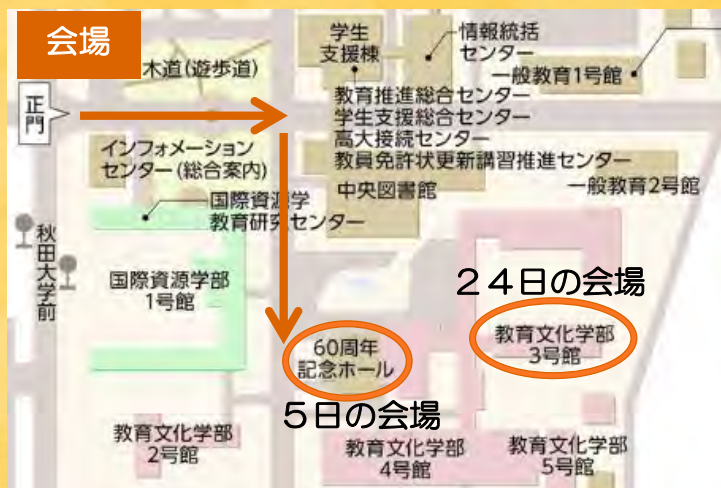


1月
24日
SUN

テーマ：「おいしく食べよう！」
講師：秋田大学教育文化学部
特別教授 佐々木 信子先生



※時間は両日とも10:30~11:30



参加料 6日：200円 24日：無料
保険料 30~50円程度
(各回ごとに徴収、参加人数によって増減します)
※参加料、保険料は当日、お支払いください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
マスク着用での参加をお願いします。
※当日は10時頃から「正門」で担当者が待機をし、
会場まで御案内します。
※御不明な点がございましたら、問い合わせください。

秋田大学

しょうがい がくしゅうこうざ ぜん かい

生涯学習講座 (全10回)

あきた だいがく きょういくぶんかがくぶ

しょうがい

かた たいしょう

秋田大学教育文化学部では、**障害のある方**を対象とした

しょうがい がくしゅうこうざ

こうざ

ないよう

しょうさい

うらめん

生涯学習講座をおこないます。講座の内容の詳細は裏面を

らん

ご覧ください。

もうしこみしめきり

ねん

がつ

にち

もく

じ

申込締切: 2021年9月30日(木) 17時まで

もうしこみほうほう

【申込方法】

ざいせき

がっこう

そつぎょう

がっこう

せんせい

もう こみ

・**在籍する学校または卒業した学校の先生**に、申し込みを

もう こみ

なまえ

じゅうしょ

でんわばんごう

してください。申し込みには、**①名前、②住所、③電話番号、**

ひつよう

④メールアドレスが必要です。

じゅこうていいん

にん

おうぼしゃ

おお

とき ちゅうせん

・**受講定員は30人**です。応募者が多い時は抽選をします。

しめき

ご

もう こ

じゅこう

か ひ

れんらく

締切り後に申し込みのメールアドレスに、受講の可否を連絡
します。

こじんじょうほう

せきにな

かんり

こうかいこうざ

かん

※個人情報については、責任をもって管理し、公開講座に関する

れんらくいがい

しょう

連絡以外には使用いたしません。

主催: 秋田大学教育文化学部 特別支援教育講座 (担当: まえばら)

共催: 秋田県教育庁 生涯学習課 社会教育・読書推進班 (担当: ながさき)

※本講座はモデル事業として行っており、今後の生涯学習講座の充実に向けた研究事業の一部として行っております。講座を受講して提出いただいた感想等の情報を報告書・学会等の研究目的で利用します。研究目的外での使用、個人情報の活用をしません。

秋田大学(あきただいがく)で、 学(まな)ぶ 楽(たの)しみにきづいてみましょう!

	日時	講師「タイトル」
第1回	2021年10月9日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	前原 和明(まえばら かずあき)先生 「オリエンテーション/Zoomの使用方法」
第2回	2021年10月16日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	武田 篤(たけだ あつし)先生 「心理学:みんながハッピーになるための心理学」
第3回	2021年10月23日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	原 義彦(はら よしひこ)先生 「幸せな国・デンマークの人々と学び」
第4回	2021年11月6日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	堀江 さおり(ほりえ さおり)先生 「家計管理・金銭管理を考えてみよう」
第5回	2021年11月20日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	長瀬 達也(ながせ たつや)先生 「形や色について学ぼうー絵の基本を楽しく学びますー」
第6回	2021年11月27日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	石井 照久(いしい てるひさ)先生 「煮干しになっている魚を,自分で解剖して体のつくりを調べてみよう!」 ※煮干しをステーキナイフで解剖します
第7回	2021年12月4日(土曜日) 10:00~11:00 調整中	石原 慎司(いしはら しんじ)先生 「歌の背景を考え、表情をつけて歌いましょう」
第8回	2021年12月11日(土曜日) 10:00~11:00 調整中	加藤 慎一(かとう しんいち)先生 「体を使って考えよう!算数・数学」
第9回	2022年1月22日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	林 良雄(はやし よしお)先生 「身近なサイバー空間の脅威と情報セキュリティ」
第10回	2022年2月12日(土曜日) 10:00~11:00 オンライン	志立 正知(しだち まさとも)先生 「秋田のまつり」

※講座を8回以上受講して感想レポートを提出することで、受講証を発行します。

- ・オンライン実施には、Zoom (<https://zoom.us/>) を利用します。指定されたURLをクリックすることで無料で利用できます。参加には、Zoomが使用できるパソコン、タブレットなどが必要です(今回の講座では、スマートフォンの使用は不可とします)。なお、Zoomのつかい方などの質問にすべて答えることはむずかしい場合があります。
- ・感染状況によっては、講座の開催方法や実施の有無に変更の可能性があります。

2022年度 秋田大学

こうかいこうぎ

公開講座 のおしらせ

あきた だいがく きょういくぶんかがくぶ しょうがい かた たいしょう
秋田大学教育文化学部では、**障害のある方**を対象とした
しょうがいがくしゅうこうかいこうぎ かいさい よてい
生涯学習公開講座を開催することを予定しています。

じっしよてい
2022年8月～9月に全4回の実施予定

もう こ
2022年7月末ごろに申し込みをかいしします。

以下のホームページでお知らせします。



秋田大学 生涯学習講座

<https://maebarakazuaki.wixsite.com/lifelong>



こうぎ さんか きぼう ひと かくにん
講座の参加を希望する人は、このホームページの確認をし
てください。

あきただいがくしょうがいがくしゅうこうぎ こと ひろ じゅこうしゃ ぼしゅう
なお、秋田大学生涯講座とは、異なり広く受講者を募集しま
す。

〈注意事項〉

- ・感染状況にもよりますが、Zoom (<https://zoom.us/>) を利用したオンライン形式で講座を行うことを予定しています。
- ・研究協力として行う講座になります。アンケートへの回答などの協力をお願いします。

2022年度 秋田大学

しょうがいがくしゅうこうざ

生涯学習講座のおしらせ

あきた だいがく きょういくぶんかがくぶ しょうがい かた たいしょう
秋田大学教育文化学部では、**障害のある方**を対象とした
しょうがいがくしゅうこうざ じゅこうっせい ぼしゅう じゅこうりょう むりょう
生涯学習講座の受講生を募集します。受講料は**無料**です。

もうしこみしめきり ねん がつ にち じ
申込締切：2022年6月10日 17時まで

以下のフォームにて申し込みください。(QRコード)

<https://forms.gle/QvNkudqkMouDcs2V6>



この生涯学習講座では、「講義」と「ゼミ」の約1年間の受講を通じて、大学で学習活動等に取り組んでいただきます。

講座の内容例は以下の通りです。

講義：社会生活に関連した講義、「公開講座」の計画・運営、研究発表会など

ゼミ：リフレクション、研究の実施、研究報告書の作成など

この講座は、少人数のゼミ形式で行います。よって、応募者が多数いた場合は、抽選をおこないます。

講座は、基本的には水曜日の18時～19時(予定)及び土曜日の10時～12時(予定)に、スケジュールに沿って不定期に行います(毎週ではありません)。感染状況及び講義内容に応じて、オンライン・対面のそれぞれで行います。

〈よくある質問〉

Q: 研究報告書を作成するとありますが、たくさんの知識を持っていないといけませんか？

→A: 知識が無くても大丈夫です。研究論文を作成することを目的としていません。研究報告書は個々人の目的に応じて、関心をまとめ、他者に伝えることができることを目指します。個々人の努力が必要です。

Q: 受講に当たっての配慮はもらえますか？

→A: 受講者が単独で活動できることを求めますが、必要となる配慮については相談の上で提供を検討します。

Q: 講義の聴講だけはできますか？

→A: この講座では、講義内外の受講生の主体的な活動が重要になります。聴講だけの場合は、同時に開催する予定の公開講座に申し込みください。

〈注意事項〉

- ・受講者が主体的に、公開講座の計画をし、交渉・周知等の取組を行ってまいります。また、講義は、対面だけでなくオンラインで行うことがあります。各回の講義のリフレクション、最終的な報告書を、ワード、パワーポイントを用いて作成していただきます。
- ・主に、受講者単独での作業となるため、上記の活動を行うための一定の知識などが必要です。
- ・必ず、office等のソフトがインストールされたパソコン等をご準備ください。また、受講者とのやり取りにおいては、メール等を用います。受講者が単独で講師らとやり取りできる必要があります。
- ・Zoom (<https://zoom.us/>) を利用しつつ、オンラインと対面の両方で講座を行うことを予定しています。
- ・この講座は研究として行いますので、すべての講義への参加、研究協力への同意が前提となります。

※本講座はモデル事業として行っており、今後の生涯学習講座の充実に向けた研究事業の一部として行っております。講座を受講して提出いただいた感想等の情報を報告書・学会等の研究目的で利用します。研究目的外での使用、個人情報情報の活用をしません。参加申し込みを頂くことで研究協力の同意を頂いたこととします。

事務局: AULEPP (障害のある方を対象とした秋田大学生涯学習講座)

担当: 秋田大学教育文化学部 特別支援教育講座

(准教授 前原和明)

AULEPP



AULEPP

2023年度 秋田大学

しょうがいがくしゅうこうざ

生涯学習講座 のお知らせ

あきた だいがく しょうがい かた たいしょう しょうがいがくしゅうこうざ
秋田大学は、**障害のある方**を対象とした生涯学習講座の
じっし よてい じゅこうりょう むりょう
実施することを予定しています。受講料は**無料**です。

2023年7月ごろに申し込みを開始します。

以下のホームページでお知らせします。

秋田大学 生涯学習講座

<https://maebarakazuaki.wixsite.com/lifelong>



講座の参加を希望する人は、このホームページの確認をしてください。

2023年度講座の内容（予定）

- 秋田県生涯学習センター主催の「**あきたスマートカレッジ**」にて出張開催します！
- ※「あきたスマートカレッジ」の講座受講には、秋田県生涯学習センターへの申し込みが必要です。
- 秋田大学で専門的知識を学ぶ**公開講座**を行います！
- その他にも**秋田大学について学ぶ企画**を検討中です・・・

- オンラインと対面を併用しつつ行います。
- オンラインでは、Zoom (<https://zoom.us/>) を利用します。
- この講座は研究として行いますので、研究への協力としてアンケート等への回答をお願いしています。



事務局：AULEPP（障害のある方を対象とした秋田大学生涯学習講座）
担当：秋田大学教育文化学部 特別支援教育講座
（准教授 前原和明）

AULEPP (オウリップ)

Akita **U**niversity's **L**ifelong **E**ducation **P**rogram for **P**ersons with Disabilities



AULEPPホームページ

<https://maebarakazuaki.wixsite.com/lifelong>



AULEPP Facebook

<https://www.facebook.com/AULEPP/>



試行経過

- 2020年度：公開講座（2回）
- 2021年度：公開講座（10回）

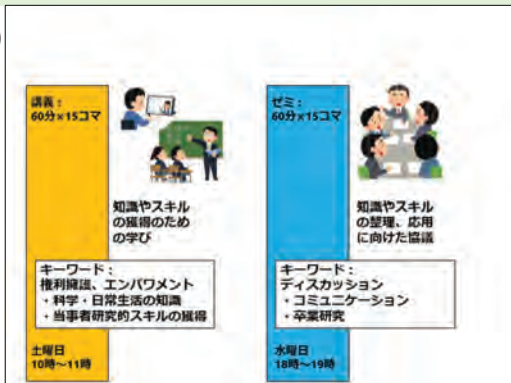
・参加者は、新たな学び、継続的学びのニーズ、新たな関心、日々の生活スタイルや社会に対する見方の変化を得た

- ①参加者が講義から意味を見つけ出すための機会の設定
- ②学びの場を保証するためにオンラインを有効活用
- ③地域の中での大学の生涯教育の位置づけの明確化

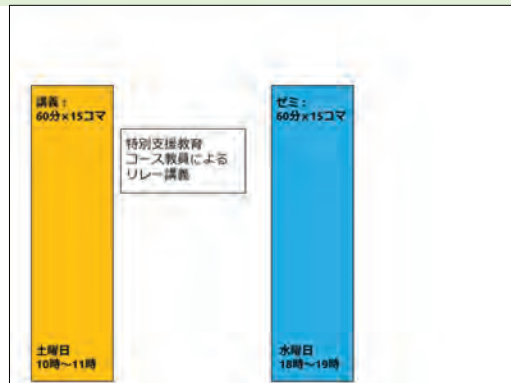
- **2022年度：生涯学習プログラム（計30回程度）**

AULEPPのコンセプト

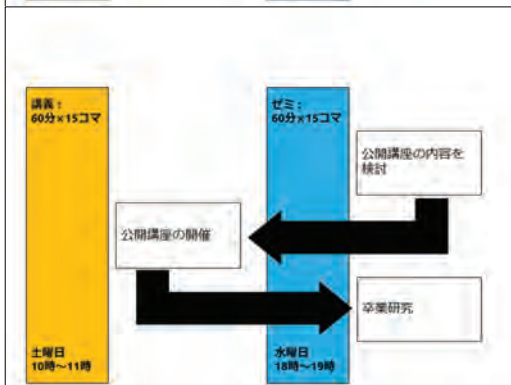
①



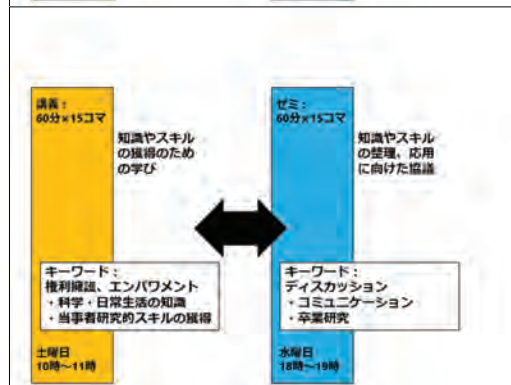
②



③



④



講義:
60分×15コマ




知識やスキルの獲得のための学び

キーワード:
権利擁護、エンパワメント
・科学・日常生活の知識
・当事者研究的スキルの獲得

土曜日
10時～11時

ゼミ:
60分×15コマ



知識やスキルの整理、応用に向けた協議

キーワード:
ディスカッション
・コミュニケーション
・卒業研究

水曜日
18時～19時

講義：
60分×15コマ

土曜日
10時～11時

特別支援教育
コース教員による
リレー講義

ゼミ：
60分×15コマ

水曜日
18時～19時

講義：
60分×15コマ

土曜日
10時～11時

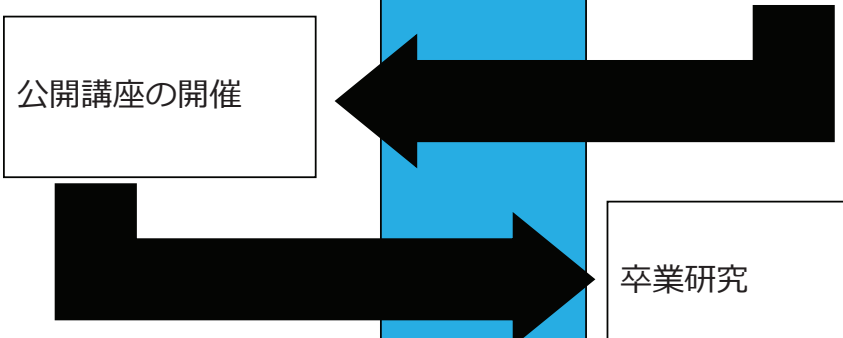
公開講座の開催

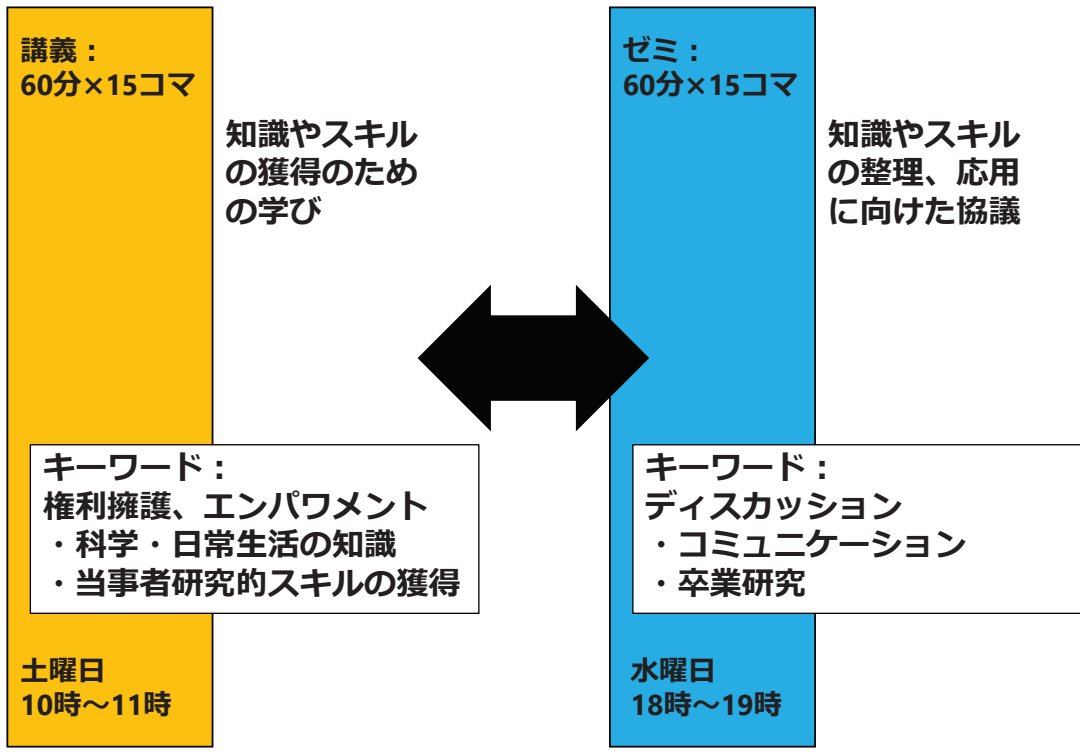
ゼミ：
60分×15コマ

水曜日
18時～19時

公開講座の内容を
検討

卒業研究






実施状況

講義

・講義：
特別支援教育コース教員による講義+公開講座


- 「みんなが協力して住みよい社会をつくるために」(藤井慶博先生)
- 「こんなときどうする?」(鈴木徹先生)
- 「みんながハッピーになるための心理学」(武田篤先生)
- 「ストレスとサポート」(前原和明先生)



オンライン講座
「みんなが協力して住みよい社会をつくるために」

ゼミ

ゼミナール
公開講座立案+関心などに基づく協議



ハイブリッド(対面+オンライン)ゼミ

公開講座

2022年度
・秋田大学公開講座のおしらせ

日程	日時	テーマ・講師
第1回	9月3日(本曜日) 10:00~11:00	オンライン オリエンテーション 「zoomの使い方」 前原和明(まえばらかずあき)先生
第2回	9月10日(本曜日) 10:00~11:00	オンライン 気象・気候・気象のはなし 森谷 晴(もりや はる)先生
第3回	10月1日(本曜日) 10:00~11:00	対面(秋田大学) 絵と英語 森澤 達也(もりさわ たつや)先生
第4回	10月22日(本曜日) 10:00~11:00	オンライン 情報セキュリティ 林 良雄(はやし よしお)先生
第5回	10月29日(本曜日) 10:00~11:00	オンライン 家計管理・金融管理 堀江 大樹(ほりえ だき)先生
第6回	11月26日(本曜日) 10:00~11:00	対面(秋田大学) 生涯学習 加納 隆徳(かのう たかのり)先生

申込締切: 2022年8月31日(水)17時まで

対象者: 学校卒業生 および高等部3年生

【申込方法】
以下のフォームにて申し込みください。
<https://forms.gle/kmKusvEGK77wiV7k6>



(QRコードからも申し込みできます)

※個人情報は、責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。

● 講義：

特別支援教育コース教員による講義＋公開講座

- 「みんなが協力して住みよい社会をつくるために」 (藤井慶博先生)
- 「こんなときどうする？」 (鈴木徹先生)
- 「みんながハッピーになるための心理学」 (武田篤先生)
- 「ストレスとサポート」 (前原和明先生)



オンライン講義
「みんなが協力して住みよい社会をつくるために」

2022年度

・秋田大学公開講座のおしらせ

	日時	テーマ・講師
第1回	9月3日(土曜日) 10:00～11:00 オンライン	<u>オリエンテーション</u> <u>／zoomの使い方</u> 前原 和明(まえばら かずあき)先生
第2回	9月10日(土曜日) 10:00～11:00 オンライン	<u>気象・気候・雪氷のはなし</u> 本谷 研(もとや けん)先生
第3回	10月1日(土曜日) 10:00～11:00 対面(秋田大学)	<u>絵・美術</u> 長瀬 達也(ながせ たつや)先生
第4回	10月22日(土曜日) 10:00～11:00 オンライン	<u>情報セキュリティ</u> 林 良雄(はやし よしお)先生
第5回	10月29日(土曜日) 10:00～11:00 オンライン	<u>家計管理・金銭管理</u> 堀江 さおり(ほりえ さおり)先生
第6回	11月26日(土曜日) 10:00～11:00 対面(秋田大学)	<u>主権者教育</u> 加納 隆徳(かのう たかのり)先生

もうしこみしめきり ねん がつ にち すい じ
申込締切:2022年8月31日(水)17時まで

たいしょうしゃ がっこうそつぎょうせい こうとうぶ3ねんせい
対象者: 学校卒業生 および高等部3年生

もうしこみほうほう

【申込方法】

いかに か もう こ
以下のフォームにて申し込みください。

<https://forms.gle/kmKusvEGK77wjV7k6>



(QRコードからも申し込みもできます)

ちやくぜん どうろく あんない
直前に、登録していただいたメールに案内をおくります。

こじんじょうほう せきん かんり こうかいこうざ かん
※個人情報については、責任をもって管理し、公開講座に関する

れんらくがい しやう
連絡以外には使用いたしません。

ゼミナール

公開講座立案 + 関心などに基づく協議



ハイブリッド（対面+オンライン）ゼミ

今後の課題

- 短距離走 = 公開講座 から



- 長距離走 = 1年間 へ

- クォーター(1/4) = 1単位というスパン？
- ゴール（目標設定） = カリキュラム名？
- オンデマンド・オンラインの有効活用？
- 「大学」の理解 = キャンパスツアー



障害者の生涯学習充実のための 有効な情報提供ツールの検討

教育文化学部 学校教育課程
特別支援教育コース 1519315 山田実咲

I 問題と目的

〈障害のある方の生涯学習の実現に向けて〉

➡背景として、、、

生涯にわたって
自らの可能性を
追求できる環境



地域の一員として
豊かな人生を送ること

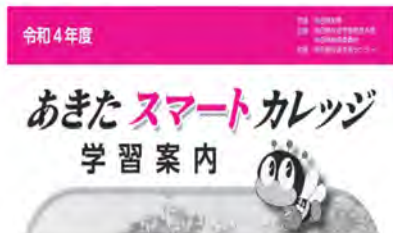


文部科学白書
(平成18年版)

I 問題と目的

〈障害のある方への具体的な施策〉

- ➡秋田県生涯学習センターの取り組み
- ・あきたスマートカレッジ



日	時	出	時間	テーマ	講師
D1	9/17	出	10:00-11:30	(自給)とアウトドアスキル2022 ～アウトドアスキルを生かした活躍～	田中 幸子 堀 及川 真一 氏
D2	11/5	出	10:00-11:30	障害のある方のICTを活用した学び ～秋田県立生涯学習センターの取り組み ～	秋田県立秋田さくらり支援学校 職員
D3	11/26	出	10:00-11:30	いろんな表現方法を知ろう ～多様な表現方法を知ろう～	佐藤 幸子 氏 佐藤 幸子 氏
D4	12/10	出	10:00-11:30	夢への挑戦 ～私にとっての挑戦とは～	SPICA代表 佐藤 幸子 氏 佐藤 幸子 氏

I 問題と目的

〈共生社会を考える具体的な施策〉

- ➡秋田県生涯学習センターの取り組み



- ・令和4年度秋田県生涯学習センター 調査研究事業 第1回 熟議「みんなの思い イウベ・キクベ」
- ・令和4年度秋田県生涯学習センター 調査研究事業 第2回 熟議「アルクベ・イウベ・キクベ」

秋田魁新聞 2022.10.31

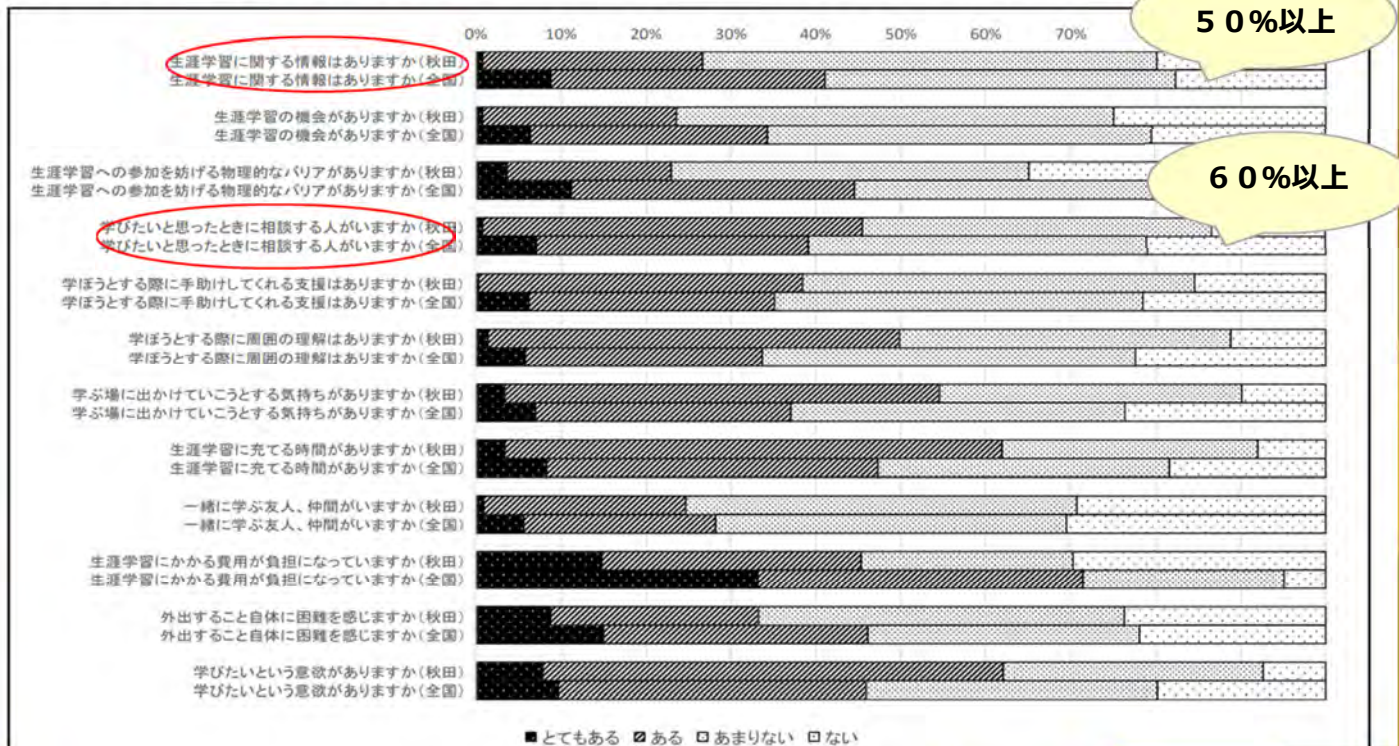


I 問題と目的

〈障害者の生涯学習に関する実態〉

➡秋田県生涯学習センター（2020）
「障害者の生涯学習に関するニーズ調査」

お子さんの生涯学習（学校以外での勉強やスポーツ、趣味、習い事等）について、あてはまるのを一つ選んでください。



I 問題と目的

- ➡障害者の生涯学習を推進しようとしているにもかかわらず、
実際は「生涯学習に関する情報」や「サポートしてくれる人材」
少ない状況が示唆される。



- 〈障害者の学校卒業後の学びを展開していくための支援〉
- ・秋田県内の市町村及び特別支援学校➡情報提供の実態体制
 - ・講座受講者➡情報収集方法

アンケート調査



より多くの障害者が学校を卒業した後も自身の学びに対して意欲を持ち、
生涯にわたる学びが充実するような情報提供ツールを検討する

II 方法

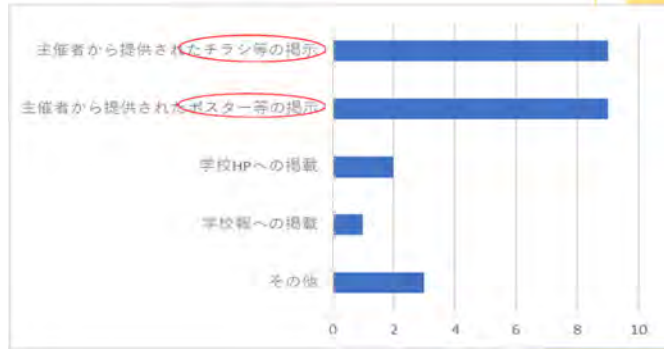
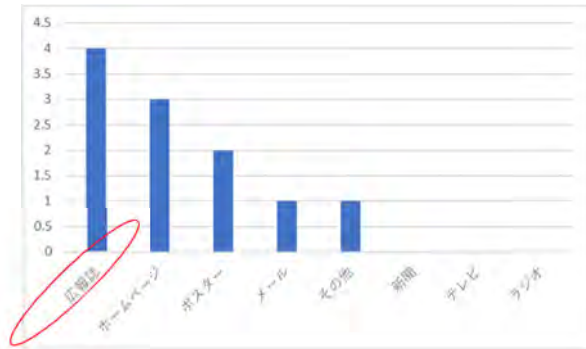
調査対象	秋田県内の市町村生涯学習担当課、特別支援学校の教員、 講座受講者（事業所『愛仙』、あきたスマーカレッジ）
調査方法	Google Formによるアンケート調査及び 郵送法による無記名のアンケート調査
主な 調査内容	〈市町村〉 学校卒業後の障害のある方が利用できる生涯学習講座の周知方法 〈特別支援学校〉 地域で行われる生涯学習講座の情報を収集する手段や提供状況 〈講座受講者〉 生涯学習講座の情報収集手段や参加しようと思った時に相談できる 人や場 〈対象者共通〉 障害のある方に生涯学習の情報が行き届くために必要なこと、障害 のある方が生涯学習に参加するために必要な情報
調査期間	令和4年9月1日（木）～9月30日（金）

1. 秋田県内の市町村と特別支援学校の結果と考察

(1) 学校卒業後の障害のある方が利用できる生涯学習講座の周知方法

〈市町村〉

〈特別支援学校〉



〈にかほ市生涯学習情報誌〉



1. 秋田県内の市町村と特別支援学校の結果と考察

(2) 障害のある方に生涯学習の情報が行き届くために必要なこと

〈市町村〉

障害のある方に直接情報を届けることが確実に行き届く方法として有効

➡ 他課と連携して、どこにどのような障害の方が住んでいるかを把握
講座の内容や対象者の障害の程度に応じて、個別に情報を郵送

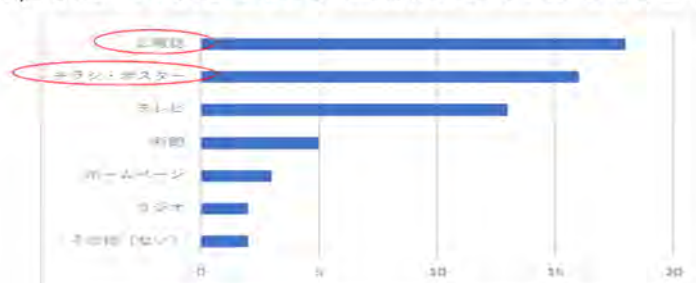
〈特別支援学校〉

生徒本人が在学中に積極的に自分から情報を得るための手段を身につけることが有効

➡ 在学中に講座の調べ方から実際に生徒自身が講座に申し込むまでの一連の流れを行う

2. 講座受講者の結果と考察

(1) 開催される生涯学習講座をどこで見つけるか



開催する情報を直接手元で見つけたり目が届いたりするような媒体

(2) 参加しようと思った時に相談できる人や場

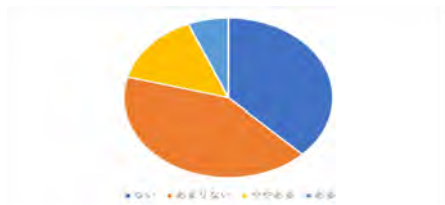


半々という結果

➡ 家族や事業所の職員などの身近な方に聞いている

2. 講座受講者の結果と考察

(3) 生涯学習に関する情報を見つけにくいと感じたことの有無



3分の1の方は情報を見つけにくいと感じている
 →「どこに情報があるか分からない」

(4) 障害のある方への生涯学習に参加できるようにするために必要な情報



講座の内容や日程、料金、準備物、会場へのアクセスを必要な情報としている
 →介助者・ボランティア、バリアフリー化の情報も選択していた

3. 全体的な結果から

〈障害のある方への生涯学習に関する情報提供〉

市町村や関係機関から広報誌やチラシ・ポスターなど様々な媒体を通じて行われている



どの媒体を活用して情報を得ることができるのかが分からないため、情報が十分に行き届いていない状況があることが示唆された



直接手元で確認したり、ホームページ等で掲載したりできる情報誌の作成が有効！

3. 全体的な結果から

〈情報誌の作成にあたって〉

○掲載する情報

講座内容

日時

料金

準備物

講座対象者の障害の程度

介助者・ボランティアの情報

バリアフリー化の情報

○活用方法

今年度行われる複数の講座情報を収集
 ➡実施される会場や講座内容の項目を整理
 ➡情報誌を作成

- 自治体では他課と連携して障害のある方に直接お知らせ
- 在籍時に実際に興味のある講座に申し込み、受講

自分の得意な表現で好きなものを
 発表してみよう！

歌ったり、ダンスをしたり、楽器を演奏したりして自分を表現してみませんか？



2023. 8. 20 (日) 10:00~11:30 参加無料！！

自分を表現するもの(好きな曲の音源・楽器・カメラなど)・タオル・飲み物

秋田県生涯学習センター 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

電話/ドAX: 018-865-1171/018-824-1799 <https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>



バスは、JR 秋田駅(西口)から「県立体育館前」下車、徒歩2分です！

(ミラテラ〜情報)エドセンターや地域トイレがあり、学生ボランティアが巡回をサポートしてくれます！

申し込み QRコード
 こちらのコードまたはホームページからお申し込みします！

講師：特定非営利活動法人

みんなの輪

代表理事

〇〇 〇〇 氏



タイトル

講座内容

日時・料金・準備物

- ・会場、連絡先
- ・会場へのアクセス
- ・バリアフリー化、学生ボランティアの情報(今回は重度の障害のある方も活動が可能であるため、障害の程度の情報を掲載なし)
- ・QRコード付き申し込み方法

講師情報

参考文献

- ・ 文部科学白書（平成18年版）
- ・ 文部科学大臣
「特別支援教育の生涯学習化に向けて」（平成29年4月）
- ・ 秋田県生涯学習センター
「障害者の生涯学習に関するニーズ調査」（令和2年）
- ・ にかほ市生涯学習課
「にかほ市生涯学習のすすめ」（令和4年）

ガラパゴス GALAPAGOS

はったつでこぼことうじしゃけんきゆうかい
発達凸凹当事者研究会

支援内容、講座内容、行事内容等

【当事者会について】

就労している(福祉的就労を含む)発達障がいの当事者とその家族が集まる「当事者会」を、対面とオンラインで開催しています。(対面当事者会は月1回日曜※年9回、オンライン当事者会は不定期日曜)
発達の凸凹があるからこそその強みや苦手なことがあります。日常感じていることを話し合ったり、交流を深めたり、勉強会などを開催したりしながら、自分らしく生き生きと生活できるヒントが見つかることを目指しています。今はコロナ禍で中止していますが、レクレーション等も企画することがあります。

【イベントについて】

昨年度・今年度と「発達障がい者の働き方改革～テレワークの可能性を考える」と題してイベントを行いました。テレワークで就労中の当事者やキャリアコンサルタント、就労支援の専門家と一緒に、テレワークで就労することのメリット・デメリットを整理し、今後の展開について話し合いました。

【冊子について】

2020年3月に、活動内容をまとめた冊子「GALAPAGOS」を作成し、関係各所に配布しました。

実施場所・時間等

対面	場所：ミルハス・秋田県社会福祉会館等	時間：日曜 午後13:30～15:30
オンライン	実施環境：google meet	実施時間：日曜 午後20:00～22:00
対象者	障害の種類や程度、障害の有無の不問等 おおむね39歳以下の発達障がい当事者で就労している方（福祉的就労含む） ※家族同伴でもOK	

本人や保護者が来やすい内容

各々の特性を考慮し工夫をしています。

当事者会では、「話すタイミングが分からない」という特性をもつメンバー向けに、司会者を立てて話す時間を設けています。その際、「視覚の方が理解しやすい」という特性をもつメンバー向けに、要約をホワイトボードに記入しながら話を進めています。

自分が話したいとき、人の話を聞きたいときなど、いろいろあると思います。自分の体調や特性に合わせて自分のペースで参加できるような会を心がけています。途中入場・退場OKです。毎回参加できなくてもかまいません。

お互いにすれ違いのないように、日時等の連絡はメール(視覚情報)で行っています。

発達障がいという特性をもつ仲間のみなさんと一緒に、「自分らしく生きる」ための憩いの場を作っていくとともに、発達障がいのことをたくさんの人に知っていただく機会を作れたらと思っています。

一緒に活動してくれる仲間や、活動をサポートしてくれる世話人を募集しています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



ほりい しょうご
代表 堀井 昌悟

事務局
秋田市雄和田草川字沖村233

メール：galapagoss.3821@gmail.com

電話：090-7794-0889



NAOのたまごは、代表の重症心身障害児だった子どもが2歳3か月で他界したのち、その介護にかけていた時間を障害児・病児とその家族の支援につながる活動に使いたいとの思いで任意団体から始まり、2019年よりNPO法人となりました。「障がいがあっても、家族みんなが、それぞれ望む自分の人生を大切に、地域の中で生活したい！」を合言葉に、子育ての中で感じた不都合や必要な支援を具体的にを行うこと、健常者と障害者とが出逢い、共に暮らしていける社会の実現を目的に活動しています。

活動は、「ささえる」・「つたえる」・「つなげる」という大きく3つの活動に分かれます。障害児とその家族の直接的な支援を行う「ささえる」活動としては、例えば障害児を含む子供をお預かりして保護者に3時間のフリータイムをプレゼントする「時には親の日：ふわふわ」などがあります。

障害者や家族の想いを伝えるための「つたえる」活動としては、障害当事者や家族の講演会、映画の自主上映会などを行っています。

健常者と障害者とが出逢い共感する機会をつくる「つなげる」活動としては、車いすで街歩きをしながらバリアフリーマップを作る「WheelLog 街歩き」・プロが出演する参加制限の一切ない「じゃないコンサート」の開催や、一人のヒトとして対等に話をする事で「いま」をよりよく生きるためのダイアログの場「わたしの亡き後の世界から考える」を実施しています。

活動の3本柱

ささえる

障害児者の支援サポート

- 親の日
*ふわふわ
- 勉強会
*コミュニケーション支援研修
- きょうだい支援
*きょうだいの時間
*きょうだいカフェ

つなげる

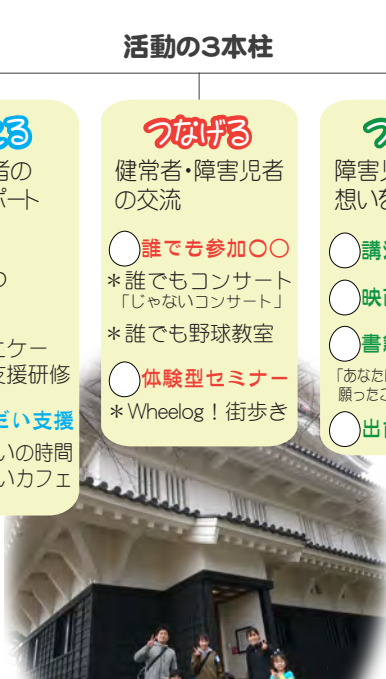
健常者・障害児者の交流

- 誰でも参加〇〇
*誰でもコンサート
「じゃないコンサート」
*誰でも野球教室
- 体験型セミナー
*Wheelog! 街歩き

つたえる

障害児者・家族の想いを伝え深める

- 講演会
- 映画上映会
- 書籍出版
「あなたはわが子の死を願ったことがありますか？」
- 出前授業



ホームページ



活動紹介動画



090-2633-3017 (代表: 佐々)



naonotamago@gmail.com

2023年5月OPEN予定

はたらく生活介護

自閉症の方のための就労サポートつき生活介護 @秋田市御野場
利用者さま募集中!

「以前は就労継続支援事業所で働いていたがトラブルを起こしてしまい、今は生活介護に通っている...」

「作業スキルはあるのに、能力を発揮できる場所がない...」
そんな自閉症スペクトラムの方、いらっしゃいませんか?

「はたらく生活介護」では、自閉症の方一人一人の特性に合った配慮を行い、働きやすい環境を整え、強みを十分に発揮してお仕事して頂けるようにサポートいたします。作業能力に応じて報酬もお渡しします。私たちと一緒に働いてみませんか?

作業内容 (予定)

- コーヒー豆の選別作業
- 袋詰め作業
- ラベル貼り
- 弁当配達
- など



イラスト、写真、文字など一人一人の利用者様にとって一番分かりやすい方法で作業手順や指示を伝えます。



以前就労Bでトラブルを起こして利用を断られてしまった方が、現在大活躍して下さっています。

説明会のお知らせ

「はたらく生活介護」について相談支援専門員の方や親御さん向けの説明会を開催します。
お気軽にお越しください♪

日時: 3月10日 (金) 13:30~14:30


場所: 仁井田コミュニティセンター


〒010-1421 秋田県秋田市仁井田本町4丁目5-2 0

お申し込み方法: 右のQRコードまたはお電話 (080-7321-9334)



お問い合わせ

 mainoffice@ohana-kai.com

 080-7321-9334



NPO 法人あきた子どもネットよりお知らせ

子ども食堂の開催

秋田駅前アルヴェ調理室隣の「洋室 B」で毎月 1～2 回子ども食堂を開催しています。子どもだけでも親子でもどうぞお越し下さい。（無料です）

3 月の子ども食堂 メニューは「オープンサンド」


開催日時 12 日（日） 11：15～13：00

23 日（木） 17：15～19：00 です。



秋田県福社会館で学習スペース

秋田県福社会館 4 階 あきた子どもネット事務所に学習スペースを設置しま

した。  山王十字路バス停下車 新国道沿いの 10 階建てのビルです。

みんなの居場所スペースとしてご利用ください。

開催日時（学習サポーター在中します。）

（毎週土曜日 13：00～16：00 に実施しています。）

問合せは↓

特定非営利活動法人あきた子どもネット 代表 後藤 節子

〒010-0955 秋田市山王中島町 1-2

tel 070-5327-1386 fax 018-865-1110

E-mail : gotou@akita-jidoukaikan.jp

<http://kodomonet.jugem.jp/>



知的・発達障がい疑似体験 してみませんか？

こまちほ～ぷ隊

全国手をつなぐ育成会「啓発キャラバン隊」秋田支部



イメージキャラクター

知的障がいや発達障がいのある人たちの個性豊かな行動や特性を「疑似体験」を通して実感していただくことで、彼らのよき理解者を増やす活動をしています。

目に見えない障がいだからこそ、体験してみないとわからないことがあります。

私たち「こまちほ～ぷ隊」は、知的障がいや発達障がいに理解のある人たちが地域に増えることを願っています。

※「啓発キャラバン隊」は全国で100団体ほどが活動しております。全国各地のキャラバン隊は、これまで社会福祉協議会研修、知的・発達・自閉症障がい者サポーター養成講座、自立支援協議会研修、民生児童委員研修、警察学校、消防学校、子ども会、ボランティア団体、企業などの依頼を受け講演をさせていただいております。

Q. どんなことをするの？

A. 知的・発達障がい者の立場になって、戸惑ってみたり焦ってみたり、の疑似体験ができます。

私にも知的障がいのある息子がいます。なのに、初めてこの疑似体験の講座を受けた時に「え？こんな風感じていたの??」とか「こんな行動をするのは、こういうことだったんだ～!」という気づきがありました。

人間誰でも得意なこと、不得意なことがありますよね？ちょっとだけ不得意な事が多めな知的・発達障がいの人たちの気持ちに寄り添ってくれる人がどんどん増えてくれたら、障がい者に限らず、高齢者や子どもたち、みんなにとって住みやすい街になるのではないのでしょうか・・・ (平野)



してほしいな
わたしたちのこと

★人に対する関心が乏しく、
孤立しやすい



★時間の概念や始まり、終わりを理解しにくい



★応用が苦手、柔軟性が乏しい



★特定の物へのこだわりが強すぎる



お気軽にお問い合わせください

〒010-0971 秋田市八橋三和町13-19 平野正子

TEL 090-2360-1665 ✉ makoki_krsk@yahoo.co.jp

blog: <https://komachihoop.blog.fc2.com/>

f <https://www.facebook.com/komachihoop>

一般社団法人秋田市手をつなぐ育成会 <https://www.akitaikusei.com/>

特定非営利活動法人



秋田市牛島にオープン

“多機能型ケアベースにの”

よろしく申し上げます!!

“多機能型ケアベースにの” “ってなあに？

にのには、重症心身障がいといわれる重い障がいのある方や医療的ケアの必要な方が、笑顔で自分らしく毎日を過ごせるようお手伝いをさせていただいています。看護師のほか、介護福祉士・保育士が在籍し、様々な活動をしています。

障がいの重度にかかわらず利用者様ひとりひとりが役割を持ち、住み慣れた地域で生活をし、日々介護をしているご家族様も心身ともに健康的な毎日を送ることができるよう、これからもお手伝いをさせていただきます。

主なサービス…児童発達支援（未就学児）

放課後等デイサービス（特別支援学校小学部から高等部）

生活介護（18歳以上）

ショートステイ

営業時間…9：00～17：00（延長 18時まで）

営業日…月曜から土曜まで（日曜および祝日、年末年始休業）

これまでの活動を紹介します。

多くの皆さまのご協力をいただき、公共交通機関を利用して秋田駅へ行きました。カフェでお茶を楽しんだり、買い物をしたり…利用者の方々にとっては貴重な経験となりました。

そのほかの活動として、にのに商店開催（年1回・地域住民との交流）、ボランティアによる本の読み聞かせやリラクゼーション活動などを行い、利用者の方にたくさんの社会体験の場を提供することができました。



～一人一人が持っている役割を活かしながら

地域で生ききる～

所在地 〒010-0063 秋田市牛島西2丁目3-18

TEL 018-838-6125

ホームページ nicotto-akita.sakuraweb.com



NPO法人サポートセンター・ビーイング

〈設立年月日 平成14年12月19日〉

理事長 寺門敏子

個人会員 168名, 法人会員 9団体

住所 湯沢市横堀字小田中5-2

湯沢市小野字東水口205-2(放課後等デイサービス事業所)

連絡先 TEL ; 0183-56-7310

FAX ; 0183-56-7311

e-mail ; ononokomachi@yutopia.or.jp

HP ; <https://being-aoihana.org>

活動理念

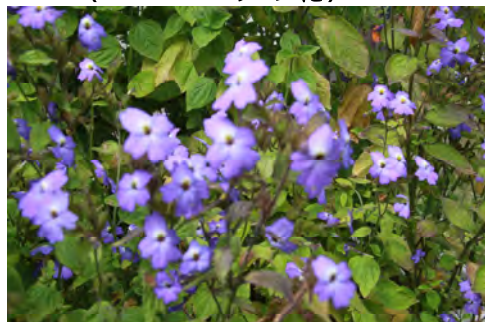
- 1 一人では生きる力の弱い障がいを持つ方々が、家族に頼らなくても、地域の中で生きがいのある、安心して生活ができる地域社会を創る。
- 2 街の中で障がいを持つ方も自然に行き交う、賑やかな地域を創る。
- 3 老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、みんな社会の構成員であることに変わりはないという観点から、偏見や差別のない「心のバリアフリー」を実現する。

主な活動内容

講演会、ビスコーサ(団体を象徴する花)の普及活動(全国の支援学校にビスコーサの花を届ける活動)、会員の研修会や親睦会

放課後等デイサービス事業所(名称 ビスコーサ)の運営及びユニバーサルスポーツ交流会等

〈ビスコーサの花〉



〈放課後等デイサービス ビスコーサ 夏・プールで〉



〈令和4年度 講演会〉





一般社団法人 秋田市手をつなぐ育成会



映画「道草」上映&トークセッション



成年後見セミナー

秋田市手をつなぐ育成会は昭和33年（1958年）に、知的障がい児者の保護者たちが我が子を思う気持ちから立ち上げた会（当時は「手をつなぐ親の会」）です。

設立当時は就学猶予や就学免除などの措置が行われていた時代で、当時の育成会の親たちは、日中、学校へ行けない知的障がいを持つ子どもたちのために、いち早く通所センター（日中通所施設）を秋田市内に数か所設立しました。昭和30年代には児童入所施設、昭和40年代には成人入所施設を秋田市内に建設いたしました。

両施設とも資金や資材の調達、敷地の整備、建物の建設、電気や水道の引き込み、道路の造成まで親たちが自ら行ったそうです。現在でも別法人によって運営され、秋田市の知的障がい福祉の重要な社会資源となっています。

令和4年の春、当会は、会員からの要望が多い権利擁護事業などを行う目的で、一般社団法人として再出発しました。

法人化後も、知的障がい児者とその保護者が幸せな人生を全うできるよう、会員相互の「和と協力」を基本にして、世の中の知的障がい児者に係わる福祉をより良いものにすべく活動を続けています。

（写真は令和4年度活動の様子）



IDOBATA カフェ（母親同士の情報交換の場）



運営委員会



こまちほ～ぷ隊 / 知的障害者疑似体験

- 会員親睦事業 IDOBATA カフェ、何でも語ろう会
- 啓発事業 こまちほ～ぷ隊出前講座（担当 平野 090-2360-1665）
- 権利擁護事業 「成年後見センターきずな」（令和5年度より準備）運営
秋田市障がい福祉課との情報交換会
- 研修事業 成年後見・障害者年金などセミナー

※活動日・開催日についてはホームページに記載

会員対象は、主に知的障がい者の家族になります。
また、賛助会員として障害者支援を希望される個人の方もおります。
セミナーや IDOBATA カフェなど、ご興味のある方はどなたでも参加可能です。



ホームページ



お問い合わせ

連絡先

事務局 本田由香
090-2559-4811
会長 小林 顕
090-7072-8732

親しまれ、愛され、信頼される「福祉の駅」をめざして！！

スタッフと地域との連携により、ご利用者様本位の支援サービスを提供致します。

《支援内容》就労継続支援B型・生活介護・短期入所・グループホーム・相談支援

令和4年度の取り組み

【愛仙の地域貢献・交流とレクリエーション】

・夏祭り in 愛仙

(※令和4年度は新型コロナ感染拡大により開催を延期し秋祭りを実施)

・仙北市障がい者ふれあい芸能文化発表会

【地域美化】

・秋田内陸縦貫鉄道駅舎清掃・除草作業

・上桧木内紙風船上げ沿道ろうそく灯し

・年末年始イルミネーション設置

(西明寺地域運営体との共同事業)

・地域の施設への花苗設置事業

(年末年始、寄せ植えプランター設置)

【防災・その他の社会公益活動】

・福祉避難所・こどものえき・募金活動

・フードバンク

・防災教室・内陸線利用の日帰りレク実施

・秋田100キロチャレンジマラソントイレ開放

・各種広報活動(市広報、愛仙通信、ブログ、Instagram)



『みんなでやろう!ドリームチャレンジdayへGO』

令和4年度 障がい者の生涯学習モデル事業の一環として、学習を通して地域の子供達が障がいのある方と関わり、障がい者への理解を深める事を目的としたイベントが開催されました。今回は「廃油を使ったジェルキャンドル作り」

「自分だけのオリジナル弁当作り」

「スポーツテニカ/ピンボウリング」

で体を動かし、楽しい時間を過ごしました。今後も社会貢献を含めこの様な取り組み・企画を進めて行きたいと思っております。

詳しく知りたい方は、愛仙 HP や

ブログ・インスタをご覧ください。



社会福祉法人
秋田ふくしハートネット

理事長 久米 力

愛仙 (生活介護・就労B型)

〒014-0513

仙北市西木町小淵野字中関7番地 ☎ 0187-47-3001(代)

愛仙の華 (生活介護・相談支援・保育所等訪問支援)

〒014-0514

仙北市西木町西荒井字番屋94番地 | ☎ 0187-42-8295

相談支援事業所 愛仙 ☎ 0187-47-2102

保育所等訪問支援あいせん ☎ 0187-47-2102

愛仙の華 グループホーム ☎ 0187-42-8297

ハートコーポ華 ☎ 0187-42-8475



AISEN.SHUURU

Instagramはじめました！よろしくおねがいします！

愛仙 就労B型

就労継続支援B型事業の作業や活動、
何気ない小さな情報を発信しています。

是非フォローして下さい♪

左のQRコードから読み取って下さい



【編著】

秋田大学教育文化学部 准教授 前原和明

・秋田大学大学院教育学研究科 教職実践専攻 教授 藤井慶博

【研究協力】

- 秋田大学教育文化学部 特別支援教育研究室
武田篤 教授
藤井慶博 教授
谷村佳則 准教授
鈴木徹 准教授
前原和明 准教授
- 秋田県教育庁生涯学習課
- 山田実咲（令和4年度秋田大学教育文化学部特別支援教育コース卒業生）
- 秋田県生涯学習センター

2022年度・秋田大学生涯学習講座 AULEPP・活動報告
前原和明・編著

2023年3月22日 秋田大学生涯学習講座 AULEPP

